

令和2年度

事業報告

指導要項

社会福祉法人北日野こもれび会

障害福祉サービス事業所

ぴーふるファン

第2ぴーふるファン

共同生活ぴーふるファン

基本理念及びそれに基づく基本方針

理 念

障害のある人の、人生を輝かせる職場の提供と、人生を楽しむ暮らしを支援する。

基本方針

1 利用者の人権と主体性の尊重

障害者の社会生活及び日常生活を総合的に支援するための法律に基づき、障害者個人が尊厳を持ちその人らしい生活を送れるように支援します。

令和2年度月次延べ利用者数

稼働日	4月 22日	5月 23日	6月 22日	7月 23日	8月 23日	9月 22日	10月 23日	11月 22日	12月 23日	1月 23日	2月 20日	3月 23日
生介 10名	206 94%	221 96%	220 100%	227 99%	223 97%	217 99%	227 99%	213 97%	222 97%	221 96%	196 93%	225 98%
B型 27名	557 94%	598 96%	585 98%	596 96%	584 94%	560 94%	574 92%	558 94%	583 94%	585 94%	512 95%	587 95%
第2B 16名 15名	347 96%	361 98%	340 97%	342 93%	330 97%	316 96%	338 98%	308 93%	321 93%	309 90%	275 92%	328 95%

- ・第1ピーぷるファン延べ、9,497名（定員40名）に支援しました。（平均出席率95%）
- ・第2ピーぷるファン延べ、3,915名（定員20名）に支援しました。（平均出席率95%）
- ・共同生活ピーぷるファン現員6名（定員8名）に支援しました。

2 利用者のエンパワメントの視点に立った自立促進

個別支援計画に基づき、自らの生きる力を高め自立自助を目指す多様なニーズに応える指導・支援をします。

- ・県より三密を避けるよう要請があり、ほとんどの利用者事業が中止となる。
（県の要請が出なかった春のバーベキュー及び県外研修等実施）
- ・就労支援時や昼食時も三密回避のシステム導入

3 安全で安心充実した地域生活の確立

工夫された日常生活や社会参加活動等の体験・訓練を通じて、精神や身体を鍛え、心身の健康と、安心・安全な充実した地域生活が送れるように支援します。

- ・コロナ感染防止研修を職員及び利用者を実施。また、保護者にも県市より通知された注意等を送付するなどした。
- ・健康診断（成人病検診）年1回実施。
- ・防災訓練（避難・通報等）実施（年2回）
- ・全員での朝礼自粛

4 感情を育成し生き生きとした日常生活を獲得する

生きるのに必要である「意欲」や行動の原点となる「やる気」を育成するため、多方面に渡る療育事業を実施し、もって感情全体を育成する。

- ・地域参加型の事業は中止となったが、所内で代替え事業を行えたものは、武生ふるさと踊りの代わりに納涼祭、県外鍛錬会の代わりに菊人形観覧実施した。また、リフレッシュデーとして小浜箸づくり体験等実施した。年末蕎麦打ち会や所内成人式は実施できた。
- ・各作業場に厚労省認可の除菌装置 5 台及び食堂・事務所に小規模除菌設備設置（すべて県助成金による）感染がまん延していかないことや、感染しても軽症状で済むとのことでした。

5 地域における公益的な取組みの実施

（経営の原則）社会福祉法（第二十四条第 2 項）に基づき、日常生活又は社会生活上の支援を必要とする者に対して、無料又は低額な料金で、福祉サービスを積極的に提供しよう努めなければならない。（社会福祉法人の責務）（社会福祉法人の非課税の根拠）これらの取組み実施から、地域共生社会実現への道筋とする。

- ・県立特別支援学校（福井南・南越）高等部実習生受入れ実施。
- ・土日限定であったが、菊人形販売を赤十字奉仕団様と共に実施した。
- ・日中一時支援にて、長期学校休暇に対応し、多数受け入れた。（春・夏・冬休み期間）
- ・他県よりの視察見学中止
- ・越前市笙ネット（越前市内社会福祉法人 19 法人で活動）職員派遣。
- ・越前市役所障がい者雇用面接官派遣
- ・NPO 法人越前市障がい者スポーツクラブ理事派遣

6 虐待防止への取り組み及びその根絶

法人役員のみならず、福祉サービスを担う職員として、その在り方を常に模索し互いに虐待防止・根絶等の研修をし、もって支援の基本としてのスキルを身に着けなければならない。

- ・虐待防止研修職員参加（虐待防止委員会会議 1 回）

令和2年度 事業所の努力目標

努力目標

(1) 地域福祉（CO手法の利用・構築）

「地域に根ざす社会福祉法人・障害福祉サービス事業所」「社会の一員」ということを前提に、地域社会をはじめ各種団体との交流を発展させ、他事業所との交流、企業・ボランティアの積極的導入を年間通して実施する。また、学校関係・各種団体・地域企業等との強い信頼されるネットワーク作りを拡大するよう努めると共に、地域の人々と好ましい関係を作る。これらは自立への大切なプロセスとの認識により、地域との連携を深めていきます。

また、福祉的地域ニーズを掘り起こし、社会福祉法人としての公益的な責務を積極的に果たす。

*** 地域町内会の防災に対し協力体制（避難場所貸出利用や炊出し協力等）を約束。**

(2) 職員の資質向上

臨床(実践的対処)は、人材であり、高度な技術のある福祉サービスを提供し続けることや、次世代へ事業を引き継ぎ、切れ目の無いサービスを行うためにも、職員の育成は欠かすことのできないものである。また、福祉サービスの理念及び基本方針に支えられた福祉事業所は、コンプライアンスルールの確立はもとより、管理者を含む職員一人ひとりにおいて、社会福祉分野における国家資格制度としての資格取得や、社会福祉主事・サビ管等を目指すと共に、各種研修制度を活用し、新しい時代の福祉サービス人としての虐待根絶や一層の知識と見聞を広め資質の向上を図ります。

*** 各種資格取得への協力体制。（社会福祉士・サービス管理責任者育成）**

(3) 非常緊急時の体制整備

障害福祉サービス事業所には、利用者の生命財産を守るという絶対的使命があります。日常の事業所運営においては、非常事態における生命財産の保護に備えた体制整備が絶対視されています。災害時や、事故、急病などに対処した緊急時地域協力体制などの整備も目標としていきます。

*** 消防設備点検年1回**

*** Jアラート試験年2回**

*** 食品衛生法一部改正に基づく新食品加工棟オープン（受渡5月末）利用開始。**

(4) 高齢化・重度多様化対策

利用者の高齢化・障害重度多様化対策として、各種療育プログラム（音楽療法・運動療法等）の充実を図り、余暇・レクリエーション支援も実施する。地域のあらゆる社会資源との協調体制を進めていき、環境整備・処遇向上に努めます。

(5) 社会的公益事業への取り組み目標

- ・越前市地域公益活動推進協議会（笹ネット）への加入（係員1名派遣）
- ・NPO 法人越前市障がいスポーツクラブ運営協力（理事2名・指導員派遣・事業協力）
- ・旧越前市社会就労センター協議会（現一般社団法人越前セルプ）運営協力（家内労働支援・生活困窮者自立支援事業協力）
- ・県内嶺北管内特別支援学校2校（福井南・南越）体験就労実習協力（春・秋）
- ・市内各種福祉団体研修協力（日赤奉仕団・民生委員児童委員会等）
- ・各種協会協力（日本セルフセンター・全国社会就労センター協議会・福井県セルフ・県社会就労センター協議会等）

生活支援の目標

次の事を重点的に、基本的な生活習慣の確立、集団生活への適応を養う。

- (1) 健康・衛生・安全に気を配り、丈夫な心身を作るよう支援します。
- (2) 目標を持ち、決まりや約束はかならず守れるように支援します。
- (3) コミュニケーションの第一として、元気でさわやかな挨拶の励行が出来るよう支援します。
- (4) 生き生きと、明るく素直で、お互いが助け合う思いやりの心と感謝の心を養うよう支援します。
- (5) 余暇を上手に使うよう支援します。
- (6) 健全な金銭感覚を養うよう支援します。
- (7) 地域社会との交流や行事に参加するよう支援します。
- (8) 新聞・ラジオ・テレビ等に目を向け、社会の動きに関心を持てるように支援します。
- (9) いろいろな体験を通じて、生きる意欲・就労へのやる気を含めた感情を育てていきます。

各種療育事業を駆使し、感情を育成する。

- (1) 生き生きとした生活をしてもらう為にやる気や意欲といった最も育成しなければならない感情は、それ自体では育成しづらいものであるがゆえに、各種の療育事業（レクリエーション療法・音楽療法・運動療法・各種コンテスト・スポーツ大会その他カルチャー講座）を年間通して実施し続け、これを通して利用者個々の感情を豊かに育成します。

就労指導の目標

技能の開発と訓練・職場マナーの涵養

- (1) できるだけ多種多様な生産活動に挑戦し、それぞれの利用者が持っている潜在的な能力が開発され、活かされるように努めます。
- (2) 委託加工においては、年間の作業量の目標達成及び正確かつ能率的な作業を目指します。
- (3) 自主生産及び販売事業においては積極的な新商品の開発に取り組むとともに、地域社会との融合を図っていきます。

職業的技術の向上と職場での適用能力を養う。

- (1) 職場体験実習・施設外就労実習を通して、自立・自活の認識を深め、社会生活に順応できる力を育て、働く喜びを高め且つ一般就労への力を育てていきます。

工賃向上責務

- (1) 就労継続支援 B 型事業においては、利用者が自立した日常生活、または、社会生活を営む事を私選する為、工賃の水準を高めるよう努めなければならない。(法第201条) その責務が示されている。

第2ピーぷるファン就労継続支援 B 型 平均工賃 66,884 円×15 名 コロナによる休業有、昨年度より (約 6,000 円平均減)

*ヒヤリハット

- ・新ホーム利用者 (女性 2 人) カルチャー講座送迎終了時つかみ合いとなり、止まった送迎車から一人足を踏み外す。腰打撲。通院に至る。
- ・第2ピーぷるファン利用者 1 名が、休憩時隣の会社構内に侵入うろつく。連絡あり。
- ・第1ピーぷるファン利用者 1 名が、送迎待ち時間に近くの医院駐車場をうろつく。また、駐車場三角コーンをつぶすなど破壊行為有。電話クレームあり。
- ・利用者どうしのいがみ合いにて、頭を叩くなどした。

*苦情要望

- ・夜中早朝にメール等を送る利用者がある。何とかならないか。利用者同士の話であったが、担当者もなかに入り、保護者協力も含め適切な使用法等支援する。
- ・利用者が別の利用者の耳元で大声を出すなど驚かし行為あり。保護者よりクレーム有。
- ・コロナ禍にあり、文化祭等事業に対し、県より自粛要請有り。

令和2年度 事業計画

月	内	福祉の店運営	研修計画
4	<ul style="list-style-type: none"> ・春季鍛錬会 3日 バーベキュー 縮小実施 (山田味・小橋・加藤) ・カフェ1が月休所 4/9～5/5 ・国の休業要請により日中一時支援 2週休み (18・25) ・県特殊建築物検査 27日 	福井県・各市町 販売継続(通年事業) (主任・金岡)	O J T(所内研修)随時
5	<ul style="list-style-type: none"> ・グループホーム防災訓練 (山田味) ・監事決算監査(21日木) (栗塚) ・定例決算理事会(28日木) (栗塚) 28日県土木新作業棟検査 29日新作業棟消防検査 31日新食品作業棟完成 	市こどもフェスタ中 央公園販売 中止	県社協主催各種職員研修会 中止
6	<ul style="list-style-type: none"> ・福井県スポーツ大会(7日)中止 (荒井・馬場・栗塚・浅川) ・定例決算評議員会(18日木) (栗塚) 		日本セルフ研究大会(11・12日)東京 中野) 中止 北陸地区知的施設長会議(25・26日) 中止
7	<ul style="list-style-type: none"> ・一般生活困窮者受入れ(県保健所より) 1名 10月まで ・夏季鍛錬会(17・18日)中止 (荒井・浅野・馬場・浅川) ・防災訓練(避難・通報)中止 (18日) 山田防災マネージャー 		日本知的福祉協会全国施設長研修 神奈川(1・2日) 中止 次長・栗塚 北陸地区知的福祉協会職員研修 富山(9・10日) 延期 荒井・金岡 全国社会就労センター総合研究大会 (16・17) 中止
8	<ul style="list-style-type: none"> ・ふる里踊り(13日)中止 (山本・馬場・山田味・柑本) ・納涼祭 13日 ・盆休み(14～16日) ・リフレッシュデイ (山田大・金岡・小橋・加藤) 	梨販売キャンペーン(7・8・9・10月) (山本・栗塚)	相談支援初任者研修・山本・山田 GH全国研修大会愛知大会(20・21 日) 次年度延期
9	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者定期健康診断 (主任) 29日 		全国知的障害者福祉協会職員研修 会(23・24日) 京都 次年度延期 コロナ感染研修10日山本・金岡 11日コロナ感染防止研修職員全員

月	内	福祉の店運営	研修計画
10	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者県外2泊研修(2～4日)長野県北部(山田大・浅野・山本・栗塚) ・臨時理事会(決議の省略)(金岡) ・評議員選任解任委員会(栗塚) 	10月10日(土) たけふ菊人形販売 土日のみ販売 (～11月8日(日)) 越前市赤十字奉仕団販売応援ボランティア	全国知的福祉生産活動・就労支援部 会研修(3・4日)香川 中止
11	<ul style="list-style-type: none"> ・越前市障害者スポーツ大会(FD市長杯)(8日) 中止 ・秋季鍛錬会(3日)菊人形(山田大・金岡・山本) 		サビ管取得研修 山田 東海北陸セルフ職員研究大会 (5・6日)福井 中止 職員県外視察研修(14～16日)
12	<ul style="list-style-type: none"> ・インフルエンザ予防接種(1日) ・福井県障がい者総合スキル大会中止 福井生活学習館(弁論・調理・接遇・軽作業) ・そば打ち会(12日) ・敦賀事業所見学18日4名受入れ ・利用者ミニ文化祭・忘年会(20・21日)中止 ・防災訓練(避難・通報)(28日) 山田防災マネージャー ・年末大掃除(28日) ・年末年始休(29日～1月3日)国の要請により1日休暇が増える。 		日本知的障がい者福祉協会日中活 動支援部会(12・13日) 中止 感染症対策研修会2日森本 虐待防止研修等 12月18日小橋 感染症研修会15日山田
1	<ul style="list-style-type: none"> ・成人式・皆勤賞受賞式・初詣・食事会(9日)(柑本・加藤・浅川) 		
2	<ul style="list-style-type: none"> 2日カフェ・地産地消認定 12日共同生活避難訓練 ・冬季鍛錬会中止 (ボウリング大会) 	恵方巻販売3日 (月) (金岡・山本・栗塚)	16日福井県社会福祉協議会新任職 員研修研修 講師主任 全国セルフ施設長研修会(25・26日) 田リモート研修
3	<ul style="list-style-type: none"> ・定例予算理事会15日(栗塚) ・定例予算評議員会30日(栗塚) ・春季鍛錬会24日いちご狩り芦原 (荒井・山田大・金岡・山田味) 		県集団指導 山本・栗塚 中止

日 課 表(平日)

時 間	業 務 内 容	
7 : 2 0 ~ 8 : 1 5	通所 (送迎バス・自転車・家族自家用車送迎)	
8 : 1 5 ~ 8 : 3 0	利用者着替え・体操・職員朝礼	
8 : 3 0 ~ 8 : 4 0	全体朝礼 (健康チェック) 1 0 分	
8 : 4 0 ~ 1 0 : 2 0	班別打合せ・清掃・作業その 1	1 0 0 分
1 0 : 2 0 ~ 1 0 : 3 0	休憩	
1 0 : 3 0 ~ 1 2 : 0 0	作業その 2	9 0 分
1 2 : 0 0 ~ 1 3 : 0 0	昼食 (歯磨き・共同利用各所清掃・休憩)	
1 3 : 0 0 ~ 1 4 : 3 0	作業その 3	9 0 分
1 4 : 3 0 ~ 1 4 : 4 0	休憩	
1 4 : 4 0 ~ 1 6 : 1 5	作業その 4 (清掃後始末等 5 分)冬期間は 16 : 00 作業終了有	9 5 分
1 6 : 1 5 ~ 1 6 : 2 0	後始末・着替え等	
1 6 : 2 0 ~ 1 7 : 1 0	利用者帰宅 (送迎バス・自転車・家族送迎)	

* (土曜日の日程・取扱い)

午前 8 時 0 0 分より午後 2 時までとする。

療育プログラムに添って、運動・音楽・調理・生活・学習等の各種セラピーを実施する。

* その他、四季に応じた、鍛錬会・各種体験事業を取り入れる。

* 土曜日の日中一時開所時間も上に同じ

職員定数換算表

*** 第1ピーぷるファン多機能型** 令和2年4月1日～

多機能型定員40名（生活介護10名・就労継続B型30名）

・**管理者**

常勤兼務 0.7 田 辺 義 明 多機能型管理者（ピーぷるファン・第2ピーぷるファン・共同生活）＋（苦情解決責任者）（会計管理責任者）（サビ管有資格）

・**嘱託医** 非常勤嘱託医師 1 財団医療法人中村病院（野口医師）

・**生活介護 定員 10名 現員 10名 職員定数 5：1 平均障害支援度区分 4.2**

常勤専従 1 森 本 由香里 看護師（介護福祉士）兼 主任＋（苦情受付担当者）
＋（就労支援員有資格）＋（サビ管有資格）＋（調理師免許）

常勤専従 1 栗 塚 初 枝 生活支援員（サビ管有資格）

・**就労継続B 定員 30名 現員 27名 職員定数 7.5：1**

常勤専従 1 山 田 大 希 サービス管理責任者（サビ管有資格）
（福祉施設防災マネージャー有資格）

常勤専従 1 金 岡 真 里 目標工賃達成指導員（サビ管有資格・中級障害者スポーツ指導員）

常勤専従 1 浅 野 泰 弘 職業指導員兼施設外就労支援員（社会福祉士）＋（サビ管有資格）

常勤専従 1 馬 場 雄 平 職業指導員 兼 施設外就労支援員（サビ管有資格）

常勤専従 1 柑 本 香奈子 職業指導員（調理師免許）

常勤専従 1 浅 川 恵 子 生活支援員（調理師免許）

非常勤専従 0.6 小 林 博 子 職業指導員

非常勤専従 0.4 建 部 幸 職業指導員

常勤専従 1 川 口 悠佳里 職業指導員

* 開所日平日の支援員余剰は日中一時支援事業支援員を兼務。

休日の土曜日は支援員等6名以上が日中一時支援事業支援員とし勤務する。

*第2 ぴーぷるファン

- ・就労継続B型 定員 20 名 現員 16 名→8 月より 15 名 職員定数 7.5 : 1
- ・管理者
常勤兼務 0.2 田 辺 義 明
- ・副施設長兼目標工賃達成指導員
常勤専従 1 長谷川 浩一 副施設長兼目標工賃達成指導員 (サビ管有資格)
- ・サービス管理責任者
常勤兼務 0.8 小 橋 雄 三 (サビ管・教員免許)
- ・支援員等
常勤専従 1 荒 井 崇 職業指導員
常勤専従 1 山 本 恵 生活支援員 (保育士・幼稚園教諭 2 種免許)
常勤専従 1 加 藤 彩 華 職業指導員

*共同生活ぴーぷるファン

- ・共同生活援助 定員 8 名 (現員 6 名)
- ・管理者 0.1 田 辺 義 明
- ・サービス管理責任者 0.2 名 (30 : 1)
常勤兼務 0.2 小 橋 雄 三 サービス管理責任者
- ・共同生活援助生活支援員 0.1 名 (程度区分 3 (宝木 1 人) に対し 9 : 1)
常勤兼務 0.1 山 田 味左恵
- ・世話人 1 名 (利用者 6 : 1)
常勤兼務 0.9 山 田 味左恵 世話人
非常勤専従 0.2 西山裕子・長谷川里美 世話人

委嘱 苦情解決第三者委員 ①坪田裕子 ②伊藤嘉規

その他の係り

- | | |
|--------------------------|--------------|
| 1 重要事項説明及び契約 | 全職員 |
| 2 会計責任者 (予算管理者) | 田辺 義明 |
| 3 出納係 | 長谷川 浩一 |
| 4 苦情処理 (受付担当者) | 森本 由香里 |
| (苦情解決責任者) | 田辺 義明 |
| (第三者委員) 当法人監査役員 | 坪田 裕子・伊藤 嘉規 |
| 5 支援費等請求事務 | 栗塚 初枝・山本 恵 |
| 6 リスクマネジメント担当 (食品衛生管理含む) | 森本 由香里 |
| 7 衛生管理 | 森本 由香里 |
| 8 職場開拓担当 | 長谷川 浩一・金岡 真里 |
| 9 販売係り (県セルプ・県庁他市町役場等) | 金岡 真里 |

10	コンプライアンスアドバイザー	森本	由香里
11	防火管理者（普通救命講習修了者）	山田	大希・山田 味左恵
12	防災マネージャー	山田	大希
13	本部事務局兼任	栗塚	初枝・山本 恵
14	越前市地域公益活動担当者	山本	恵
15	サービス提供責任者	森本	由香里

ビーぷるファン

自主生産 G

弁当・縫製	森本	由香里・金岡 真里（職員及び事業管理）
菓子・弁当	森本	由香里（各催事販売・アセス契約・健康衛生管理・苦情受付）
	浅川	恵子
清掃・カフェ	建部	幸・柑本 香奈子

委託 G

委託作業開拓	浅野	泰弘（虐待防止委員・施設外就労）
	馬場	雄平（カルチャー場所市社協等確保届・自動車税担当・施設外就労）
ビニール加工	山田	大希（作業開拓・虐待防止委員）栗塚 初枝（利用者名簿届出・利用者旅行積金・職員積金・共済事務局）西野 千代
若越チェア	金岡	真里（椅子カバー縫製）
軽作業	川口	千尋

第2 ビーぷるファン

委託 G

営業責任	長谷川	浩一（車両・建屋管理）
カット	小橋	雄三（防火管理者）
カット	荒井	崇（障がい者スポーツクラブ担当理事）
シール	山本	恵（請求関係）（販売・ソウウェルクラブ）
1枚たたみ	加藤	彩華

グループホーム

山田 味左恵

ぴーぷるファン緊急連絡体制



- 1 本人不在時には、家族が代行して連絡すること。
- 2 話中・不在の時は、次の職員へ連絡すること。
- 3 連絡表は、わかりやすい場所へ掲示すること。